

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2006-167258(P2006-167258A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-365587(P2004-365587)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を貯留可能な貯留タンクと、

前記貯留タンクから導出される遊技球を誘導する誘導部材と、

前記誘導部材より下流側において遊技球の払出しを行う払出装置とを有する払出機構部を備えた遊技機であって、

前記誘導部材は、所定方向に沿って延在する少なくとも1つの仕切部を備えることによって、所定方向に並行して延在する複数列の球通路を備え、

前記各球通路は、通路幅が遊技球の直径より広く遊技球の直径の2倍より狭くなるよう構成されることによって、遊技球を整列させつつ流下させることができるよう構成され、

少なくとも1つの前記仕切部の長手方向所定区間ににおいて、当該仕切部と面した両球通路の一方から他方へ及び他方から一方へ遊技球が通行可能のように形成された連通部と、

前記連通部の形成区間ににおいて前記仕切部の一部を構成するように設けられた可動片とを備え、

前記可動片は、当該可動片が面した両球通路側双方へ回動可能なように上流側略端部が軸支され、前記両球通路のうちの一方の球通路上にある遊技球に押されることによって他方の球通路側へ回動されるよう構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技球を貯留可能な貯留タンクと、

前記貯留タンクから導出される遊技球を誘導する誘導部材と、

前記誘導部材より下流側において遊技球の払出しを行う払出装置とを有する払出機構部を備えた遊技機であって、

前記誘導部材は、所定方向に沿って延在する複数の仕切部を備えることによって、所定方向に並行して延在する複数列の球通路を備え、

前記各球通路は、通路幅が遊技球1つ分より広く遊技球2つ分より狭くなるよう構成されることによって、遊技球を整列させつつ流下させることができるよう構成され、

前記複数の仕切部のうち相対向する2つの仕切部それぞれの長手方向所定区間ににおいて、当該仕切部と面した両球通路の一方から他方へ及び他方から一方へ遊技球が通行可能ないように形成された連通部と、

前記連通部の形成区間ににおいて前記仕切部の一部を構成するように設けられた可動片と

を備え、

前記可動片は、当該可動片が面した両球通路側双方へ回動可能なよう上流側端部が軸支され、前記両球通路のうちの一方の球通路上にある遊技球に押されることによって他方の球通路側へ回動されるよう構成され、

前記相対向する2つの仕切部にそれぞれ形成される前記連通部の位置を前記各仕切部の長手方向に対し異ならせたことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記仕切部の長手方向の複数箇所に前記連通部及び前記可動片を設けたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。